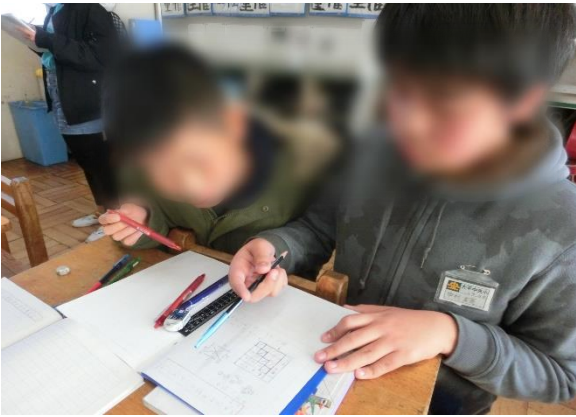


授業実践記録シート

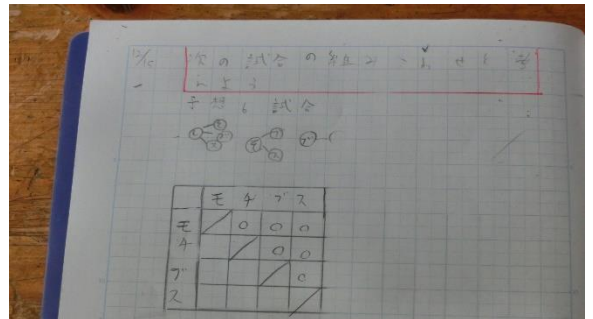
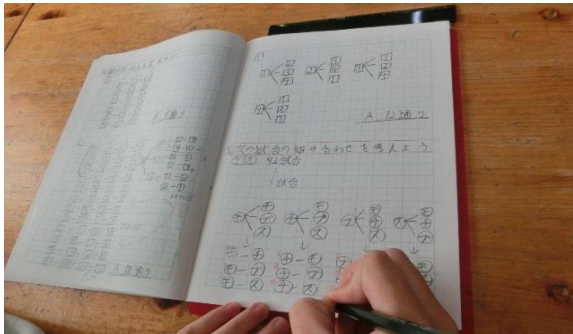
平成29年12月15日	授業者 富山 真理子		
小学6年	教科 算数	単元名 場合の数	4/8
話し合い活動の意図と手立て	<p><話し合い活動の意図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めに予想した答えと自分の導き出した答えのずれや発見を友達に伝えたり、友達の考えを聞き、自分の考えと比較したりするため。 ・さまざまな組み合わせの考え方（樹形図、表など）を共有するため。 <p>※これらの活動を通して、自分の考えをより深めさせたい。</p> <p><手立て></p> <p>4チームのバスケットボールチームから2つのチームを選んで試合の組み合わせを考える問題である。バスケットボールのチームは体育の授業で実際にやっているチームを設定した。</p> <p>A-B B-A は同じ組み合わせと捉えるが予想の段階では、多くの児童が重なりに気付かずに重複した答えを予想している。そこで実際に樹形図や図などを書き、重複していることに気付かせていき、その後、さまざまな組み合わせの考え方（樹形図、表など）を共有させていきたい。</p> <p>話し合う形態は自由にした。自由に出歩き、多くの児童と考えを伝え合えるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの形態… 全体（課題把握）→個人（思考）→自由（話し合い）→個人（整理）→発表 		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題を次の体育の授業を想定した組み合わせの問題にすることで、身近な話題でイメージしやすかった。またゴール地点が明確で子ども達は普通の授業よりも取りかかりが速かった。（体育の時間に実際に試合を行いました。） ・始めに全員の予想を発表させることで、消極的な児童も課題解決のスタートラインに立たせることができた。また黒板に書くことで、予想と実証での答えの移り変わりを視覚的に伝え、「なぜ、始めと予想が変わったのか」ということで話し合う目的が生まれ、さらに話しやすい雰囲気になった。 ・子ども達の中で自然と質問したり、図に描いて説明したりと話し合いが活発に行われていた。自由に話し合わせたので、ペアでの話し合いが多く、一度の話し合いでは多くの児童の意見を比較はできなかったが、いつもより児童どうしの会話でのやりとりが増えた。 ・昨年、この単元で個人思考の時間をとりすぎてしまって、間延びしてしまっていたが、今回は話し合いの時間を十分に確保できた。 ・振り返りの中には、算数の時間が実際の生活につながっていて、今後も学んだことを生かしたいという感想があった。 	
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・個人思考の時間だけでは、自分の考えがまとまらず、話し合いの時間に自分の席から立とうとしない児童がいた。個別の対応や言葉かけが必要だった。また、普段、集団に入りづらい児童にとって、「自由に話し合い」は難しそうだった。（学級経営とのつながり） ・書画カメラで発表したのはよかったが、一人一人の考え方がその場で消えてしまうので、まとめをするのに児童の意見を再度視覚的に振り返ることができなかった。 	

(写真・資料など)

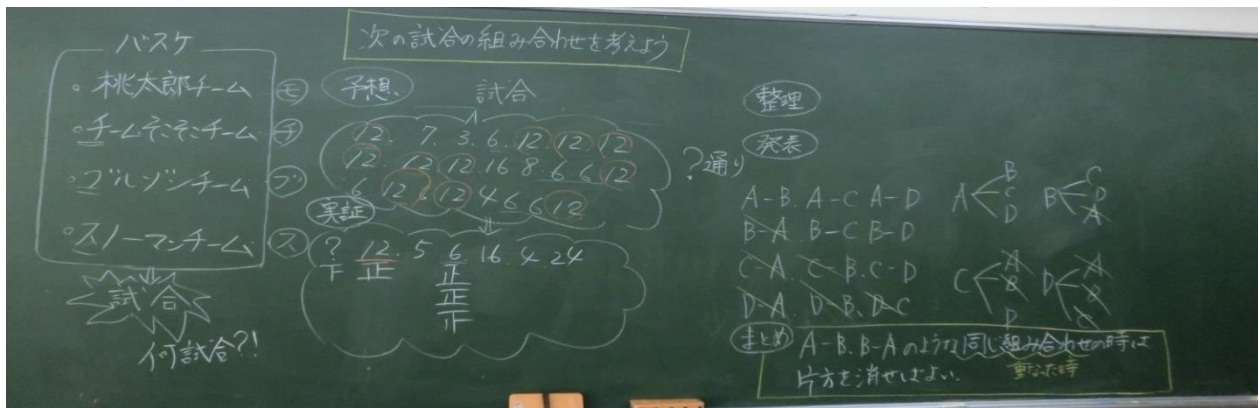
① 話し合い



② ノート



③ 板書



④ バスケットボール大会

